

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年8月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0870101813		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム すみれ		
所在地	茨城県水戸市小吹町3 1 3 5 - 1 (電 話) 029-305-5010		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1 9 1 8 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年3月24日	評価確定日	平成21年8月4日

【情報提供票より】 (平成21年2月2日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年1月26日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	19 人	常勤 13人 非常勤 6人 常勤換算	4.56人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋モルタル 造り		
	1階建ての	1	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,500 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成21年2月2日現在)

利用者人数	27 名	男性 10 名	女性 17 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名
要介護3	15 名	要介護4	3 名
	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81.7 歳	最低 41 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美野里病院 神田歯科
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ゆるやかな光が差し込み随所に季節の花が飾られ和やかに過ごせるよう配慮している。</p> <p>利用者は2週間に1度訪れる移動売店やボランティアとの交流を楽しみにし、職員は「優しく・親切・丁寧」をモットーに利用者一人ひとりを把握し、寄り添い見守りながら支援している。</p>

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議は活発に話し合いが行われ会議録も作成するなど改善している。市の担当者に疑問点を相談しアドバイスを得るなど連携を図り、市と協同でサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>家族等に年4回ホームだよりや行事時の写真を送るなど改善しているが、今後は利用者の日々の暮らしぶりについて報告することを期待する。</p> <p>自治会や老人会への加入、利用者の希望による入浴の取り組みやドライブ等の外出支援、災害時における地域の人の協力が得られるような働きかけや備蓄の取り組みは改善するまでには至っていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員で取り組んでいるが、外部評価結果を全職員で共有し改善に取り組むまでには至っていないので全職員が外部評価の意義や目的を理解するとともに、その評価結果を全職員で話し合いサービスの質の向上に活かすことを期待する。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営会議は2ヶ月に1回市職員や民生委員、家族等の代表でホームからの報告や課題を活発に話し合うとともに会議録を作成している。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱や苦情相談等受付窓口を設置している。</p> <p>家族等の面会時や電話で要望等を聴くほか、家族等が意見を言い出し易い関係づくりに努めている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>毎月各種ボランティアが訪れ交流しているが、今後は自治会や老人会に加入し地域活動に参加することを期待する。</p>

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日々の生活のなかで利用者に寄り添うことを大切に「優しく、親切、丁寧」の理念を全職員で理解し支援している。	○	家庭的な環境と地域住民との交流を意識した「地域密着型サービス」としての理念を全職員で話し合い作成することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ユニット毎に見易いところに理念を掲示するとともに、朝礼や月1回の会議の時に全職員で確認し共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月各種ボランティアが訪れ交流しているが、自治会や老人会に加入するまでには至っていない。	○	自治会や老人会に加入し地域活動に参加することを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取り組んでいるが、外部評価結果を全職員で共有し改善に取り組むまでには至っていない。	○	外部評価の意義や目的を全職員で理解するとともに、外部評価結果を全職員で話し合いサービスの質の向上に活かすことを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回市職員や民生委員、家族等の代表でホームからの報告や課題を活発に話し合うとともに会議録を作成している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者に疑問点を相談しアドバイスを得るなどで連携を図り、市と協同でサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等の訪問が少ないホームである。年4回ホームだよりを発行し、行事時のスナップ写真を送付しているが、利用者の日々の暮らしぶりを報告するまでには至っていない。	○	行事時の写真とともに利用者の日々の暮らしぶりを報告する取り組みを期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱や苦情相談等受付窓口を設置している。 家族等の面会時や電話で要望等を聴くほか、家族等が意見を言い出し易い関係づくりに努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職や異動は必要最小限に抑える努力をし、ユニット間で異動がある場合はきめ細かに申し送りをするなどで利用者へのダメージが少なくなるよう配慮している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が交代で研修会に参加し報告書を作成しているが、研修内容を報告する機会はつくられていない。	○	研修内容を報告する機会をつくったり報告書を回覧するなど、全職員が共有できるよう取り組むことを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月市内で開催されるグループホーム協議会に主任が出席し、同業者と交流するとともにサービスの質の向上に活かしている。	○	主任だけでなく他の職員も地域の同業者と交流し情報交換するなどサービスの質の向上に活かすことが望まれる。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族等に事業所を見学してもらうなどで徐々に雰囲気に馴染めるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を介護される一方の立場におかず互いに寄り添いながら家事を手伝ってもらったり、趣味を活かしてもらうなど共に支えあう関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者との日々のかかわりの中で、言葉や表情などから思いや意向を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族等から要望を聴くとともに関係者がカンファレンスで話し合い、意見等を反映させた介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態に変化が生じた場合は関係者や職員で話し合い、現状に即した介護計画に見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	2週間に1度おやつの移動売店や理美容師が来るほか、訪問診療や通院、家族等の宿泊など事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族等が希望するかかりつけ医に受診できるほか、協力医療機関から2週間に1度訪問診療があり、利用者が適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化や終末期の対応は行なわない方針である。	○	重度化した場合の対応や終末期の看取りは行なわない場合でも、重度化や終末期に対する事業所の方針を書面化するとともに、契約時に説明することが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを大切に言葉かけや対応に配慮するとともに、記録等の個人情報も適切に管理している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者の希望を聴くとともに、利用者のペースで自由に生活ができるよう希望にそって支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者は一緒に食事の準備や後片付けをするとともに同じ食卓を囲み、会話をしながら食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回午前中で行っており、一人ひとりの希望にそった入浴を支援するまでには至っていない。	○	入浴の回数や時間帯を職員の都合で決めてしまわず、利用者の希望やタイミングに合わせることで入浴が楽しめるよう支援することが望まれる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者一人ひとりの生活歴を把握し、家事などの得意分野で役割を担ってもらったり、趣味などで楽しみごとや気晴らしができるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一部の利用者はホームの中庭や敷地内で散歩や日光浴をしているが、ホームには車がないのでドライブはしていない。	○	利用者の希望にそってドライブなどの外出ができるよう事業所母体へ働きかけたり、社会資源を活用することを期待する。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は施錠することの弊害を理解している。 帰宅願望や徘徊傾向のある利用者の安全のために施錠しているが、外からは自由に入ることができ、家族等にも施錠していることを説明し理解を得ている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を実施しているが、災害時における地域の人々の協力が得られるまでには至っていない。 飲料水や食糧等を備蓄するまでには至っていない。	○	災害時に地域の人々の協力が得られるよう自治会や運営推進会議などで地域の人々に働きかけ一緒に避難訓練を行なうなどの取り組みを期待する。 また、飲料水や食糧等を備蓄することも期待する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者一人ひとりの食事と水分の摂取量を記録し共有するとともに、利用者一人ひとりの状態に応じた調理や摂取量、盛り付けなどに配慮し、きめ細やかな食事の支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム全体に外からの光が入るよう設計され、ホームの随所に季節の花が飾られるなどで利用者が居心地よく過ごせるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は馴染みの家具や思い思いの物品を持ち込み、安心して過ごせる居室になっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。